

エコアクション21

環境活動レポート

2014年度



活動期間 平成26年(2014年)4月1日 ~ 平成27年(2015年)3月31日

エコアクション21登録・認証番号 0000088

発行日 2015年4月1日
初回認証日 2004年12月22日
更新日 2012年12月22日

目 次

1. ご挨拶	3
2. 環境方針	4
3. 組織概要	5
4. 環境経営システムの運営体制	6
5. 環境目標と実績	7
5.1 環境負荷の実績推移	7
6. 環境負荷の詳細	8
6.1 二酸化炭素排出量	8
6.2 廃棄物(一般廃棄物と産業廃棄物)	10
6.3 有価物およびリサイクルしている資源	11
7. 環境活動計画の取組結果と評価、次年の取組内容	12
7.1 本年環境活動計画と評価	12
7.2 次年(2015年度)環境活動計画と環境数値目標	13
8. 環境活動記録	14
8.1 近隣清掃活動	14
8.2 廃油流出事故訓練	14
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果 ならびに訴訟等の有無	15
10 代表者による全体評価と来年への展望	16
10.1 取組への評価	16
10.2 2015年への展望	17

1. ご挨拶

株式会社アラオは、半導体製造装置を設計・製造する、エネルギー少消費型会社です。

地球環境の保全のために、2004年にエコアクション21を取得し、地球環境への負荷を少なくする事を心がけてまいりました。ここに2014年度の環境活動レポートを発表し、地球市民としての役割を果たす事を宣言するものです。

2015年 4月 1日
株式会社 アラオ
代表取締役社長 荒尾 淳

2. 環境方針

環境方針

現在の大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済システムは、自然環境に多大な負荷をかけ続け、このままでは人類そのものの存在が脅かされる可能性もあります。

そのため社会を「最適生産・最適消費・最適廃棄」な社会に変え、持続可能な循環型社会へと作り変えなければなりません。私たち「株式会社 アラオ」は以下の環境方針のもと、環境とどうかかわっているか(関係しているか)ということを考え、環境を保全するための活動を実行して地球市民としての役割を果たすことを宣言するものです。

〈基本理念〉

アラオは、その企業理念に基づき、環境との共生・調和、環境への取組みを最重要課題として認識し、全社一丸となって環境との共生・調和に配慮した事業活動に取組み、環境負荷を継続的に削減していきます。

〈環境方針〉

アラオは省力機器の設計製作および金属機械加工を事業の柱とし、設備機械や工場建屋内の空調などの動力源として電力を使用しています。

電力や原材料を含め環境への負荷を削減するために、以下の取組みを行います。

- ① 全社内の電気使用のあり方を見直し、製造工程や空調での省エネルギーを実現し、二酸化炭素の削減を推進します。
- ② 機器の設計工程・部品の製作工程および営業活動を見直して、省資源化を実現し、環境にやさしい製品の提供に努めます。同時に産業廃棄物の削減やリサイクルを推進します。
- ③ 電気材料や機械材料を適正に選択し、事務処理の効率化を図り購入量の削減およびグリーン購入を推進します。
- ④ 水の使用を削減し、排水経路を管理して環境汚染の発生を防ぎます。
- ⑤ 化学物質の使用や取扱について、適正管理をします。
- ⑥ 環境関連法令・規則・協定およびお客様の要求事項を遵守します。
- ⑦ 環境活動レポートを公表し、地域で環境活動を実施するなど、地域との環境コミュニケーションに積極的に取組みます。

制定日 2003年 11月 17日

改訂日 2011年 2月 15日

改訂日 2011年 11月 10日

第②項目追加

第⑤項目追加

株式会社 アラオ
代表取締役社長
荒尾 淳

3. 組織概要

事業所名 および 代表者名

株式会社 アラオ
代表取締役社長 荒尾 淳

所在地

〒861-4144 熊本県熊本市南区富合町釈迦堂388

事業の概要

- ◆ 半導体関連省力機械の設計・製作・改造・保守
- ◆ 各種省力機器の設計製作
- ◆ 省力機器制御ソフトウェア開発
- ◆ 金属機械加工
- ◆ 板金、溶接加工

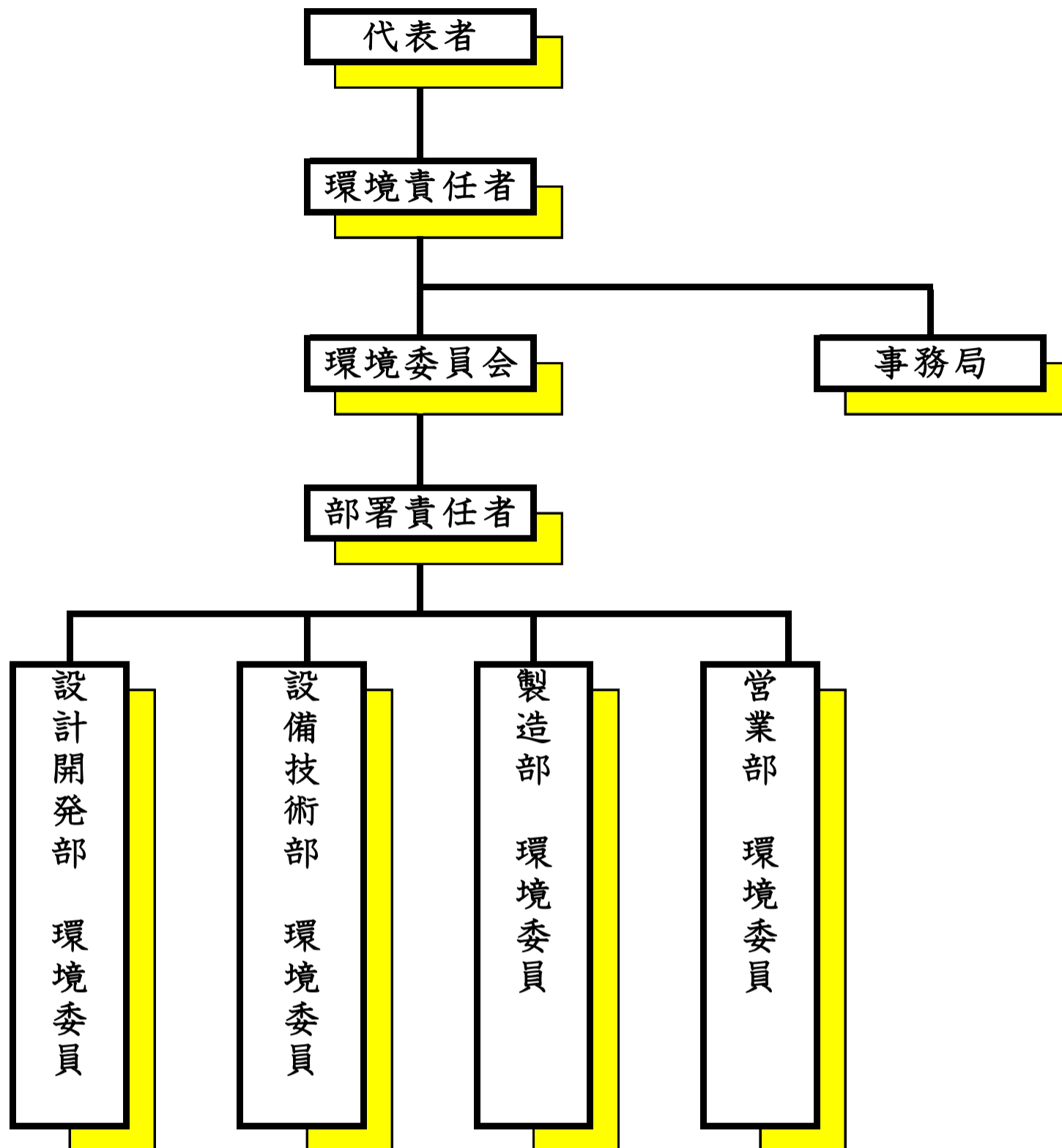
事業の規模 (2014年)

- ◆ 年間売上高 5.5億円
- ◆ 従業員数 46人
- ◆ 床面積 2,068 m²
- ◆ 敷地面積 6,604 m²

環境管理責任者氏名 および 担当者連絡先

- ◆ 代表責任者 代表取締役社長 荒尾 淳
- ◆ 環境管理責任者 営業部 山本 義郎
- ◆ 環境担当者 EA21推進事務局 船津 誠司
- ◆ 連絡先 電話 096-358-7010
FAX 096-358-8045
URL <http://www.araotech.jp/>
e-mail arao@araotech.co.jp

4. 環境経営システムの運営体制



- ◆ 代表者
 - 1 環境管理者をはじめ必要な責任者の任命
 - 2 EA21の構築、運用、維持に必要な経営資源の準備
 - 3 環境方針の制定
 - 4 EA21全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示
- ◆ 環境責任者
 - 1 経営資源の合理化、効果的な運用を図り、環境委員会を運営する
- ◆ 環境委員会
 - 1 環境責任者主催で月1回開催
- ◆ 事務局
 - 1 環境責任者の補佐
 - 2 EA21に関する実務全般
- ◆ 部署責任者
 - 1 各部署内の環境活動の指導および実行責任
- ◆ 設計開発部・設備技術部・製造部・営業部 環境委員
 - 1 各部署内における環境活動実行委員

5. 環境目標と実績

項目	西暦	2012年度	2013年度	2014年度		達成率		基準年比較	
	平成	24年度	25年度	26年度	26年度				
管理実施項目	単位	実績値	実績値	目標値	実績値	目標/実績	評価	削減率	評価
二酸化炭素排出量	トン	224.600	236.588	233.991	175.947	132.99%	○	78.34%	○
	売上当(Kg/百万円)	534.76	340.90	428.55	319.32	134.21%	○	59.71%	○
使用電力量	MWH	347.10	362.88	356.06	266.10	133.81%	○	76.66%	○
	売上当(Kwh/百万円)	826.43	522.88	652.12	482.94	135.03%	○	58.44%	○
ガソリン消費量	L	5251.88	6183.41	6053.00	5028.11	120.38%	○	95.74%	△
	売上当(L/百万円)	12.50	8.91	11.09	9.13	121.47%	○	73.01%	○
灯油消費量	L	0.00	60.00	99.00	36.00	275.00%	○	※2	※2
	売上当(L/百万円)	0.00	0.09	0.18	0.07	257.14%	○	※2	※2
一般廃棄物(塵芥のみ)	Kg	445	476	454	405	112.10%	○	91.01%	△
	売上当(Kg/百万円)	1.06	0.69	0.83	0.74	112.16%	○	69.84%	○
産業廃棄物(廃油・液・プラ)	Kg	3,760	6,682	7,465	6,580	113.45%	○	175.00%	×
	売上当(Kg/百万円)	8.95	9.63	13.67	11.94	114.49%	○	133.37%	×
紙使用量	A4枚数	111,000	82,000	96,696	80,500	120.12%	○	72.52%	○
	売上当(枚/百万円)	264.29	118.16	177.10	146.10	121.22%	○	55.28%	○
水使用量	立方メートル	493	553	533	493	108.11%	○	100.00%	×
	従業員当(m³/人)	12.33	13.17	13.33	10.72	124.35%	○	86.98%	○
売上高	百万円	420	694	546	551	100.92%	○	131.19%	○
	従業員当(百万円/人)	10.50	16.52	13.65	11.98	87.77%	×	114.10%	○
社員数	人	40	42	40	46	115.00%	○	115.00%	○
メカ設計課	図面不良率	※3	※3	20.0%	15.7%	127.39%	○	※3	※3
電気・ソフト課	部品整理	※3	※3	100.0%	16.8%	595.24%	○	※3	※3
設備技術部	始業前点検	※3	※3	100.0%	83.9%	119.19%	○	※3	※3
製造部	加工不良率	※3	※3	1.00%	1.72%	58.14%	×	※3	※3
営業部	受注率	24.1%	360.0%	30.0%	64.0%	213.33%	○	265.56%	○
全社	クレーム件数	10	28	36	11	327.27%	○	110.00%	×

基準年

2014年度・環境実績総合評価

評価基準(%)	0-89	90-99	100-
	×	△	○

※1 実績/目標

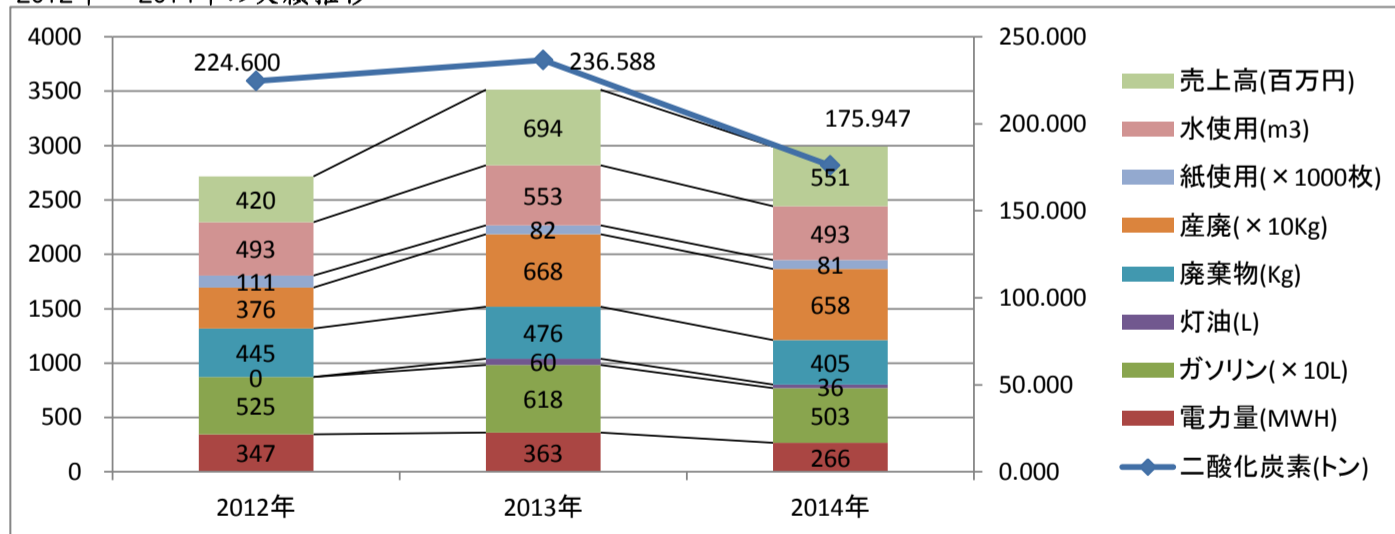
※2 基準年データ未取得のため

※3 2014年度より基準変更のため

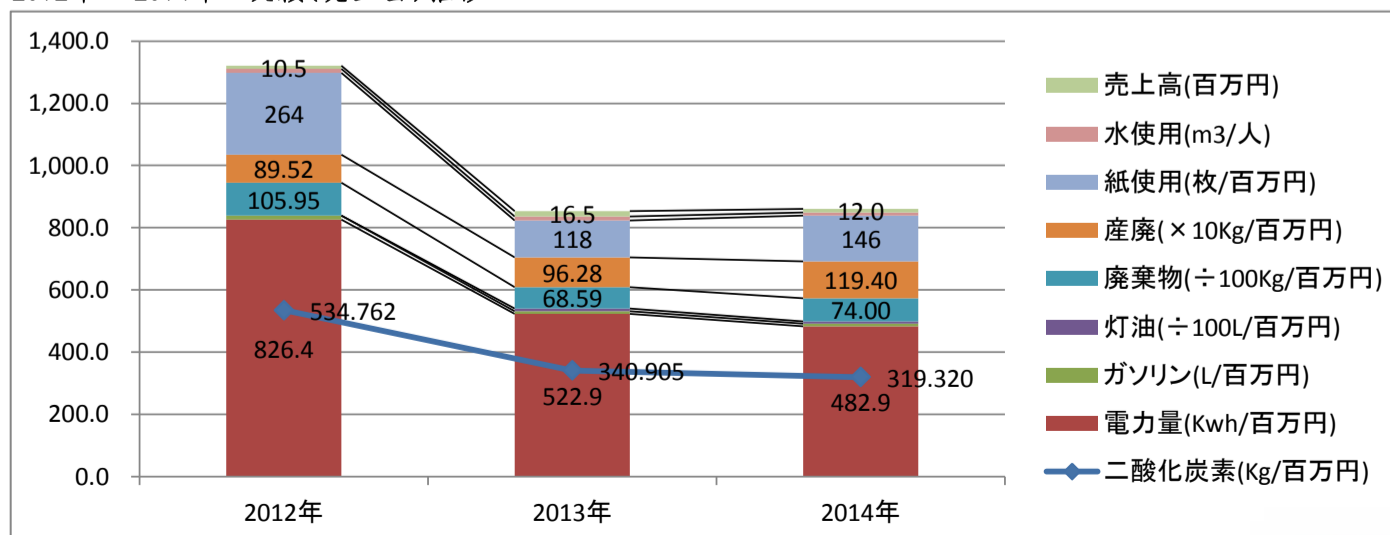
二酸化炭素排出量は電力とガソリン消費量より算出。「平成25年度 CO2排出係数=0.617(九州電力)」
2012年度(平成24年度)を基準年として2014年度(平成26年度)との比較を行う

5.1 環境負荷の実績推移

2012年 - 2014年の実績推移



2012年 - 2014年の実績(売上当)推移



株式会社 アラオ

6. 環境負荷の詳細

6.1 二酸化炭素排出量

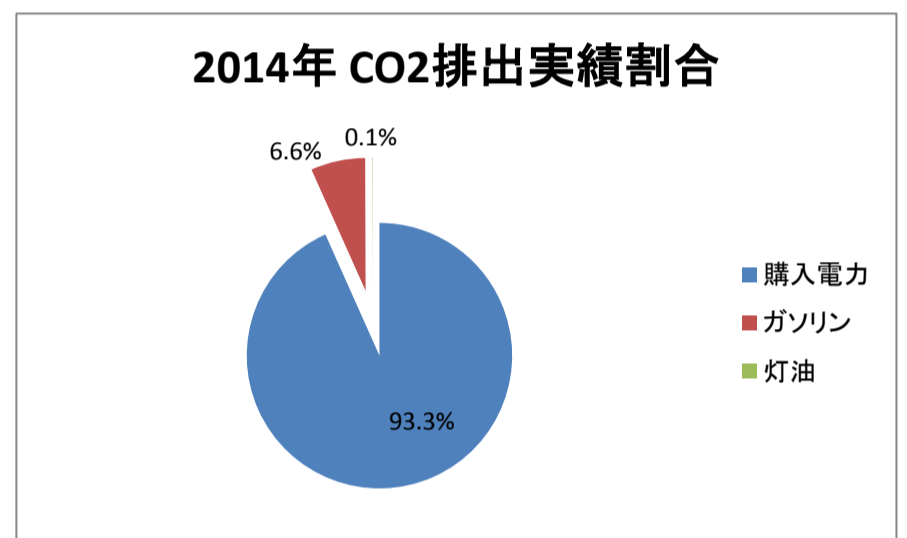
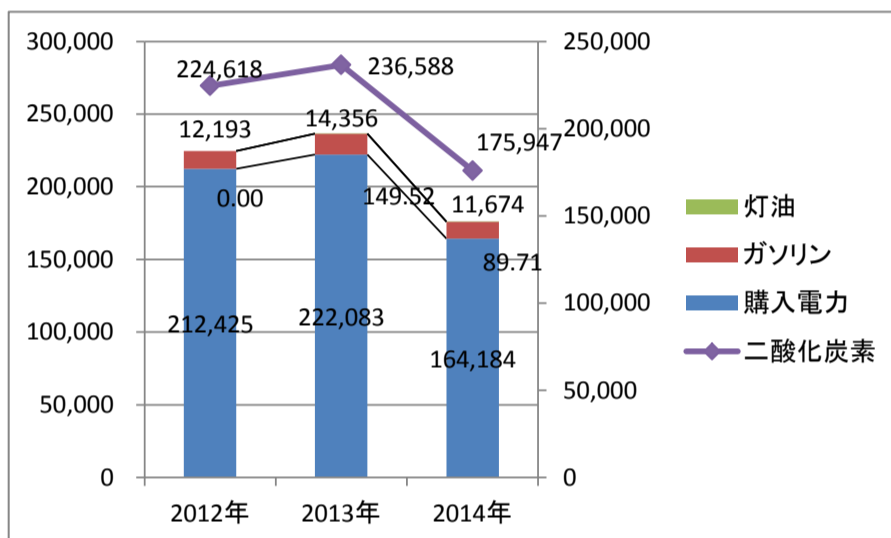
2014年度の二酸化炭素排出量実績は以下の175.95トンになります。

大半(90%以上)が電力消費により発生します。

なお2013年度の二酸化炭素排出量は236.59トンのため、対前年比は74.4%(前年比25.6%削減)です。これだけ削減できた要因は以下に述べる環境活動の成果と思われます。

2012年 - 2014年の実績推移

CO ₂ 排出実績	2012年	2013年	2014年
購入電力(Kg-CO ₂)	212,425	222,083	164,184
ガソリン(Kg-CO ₂)	12,193	14,356	11,674
灯油(Kg-CO ₂)	0.00	149.52	89.71
合計(Kg-CO ₂)	224,618	236,588	175,947



① 工場内の水銀灯をLED照明に交換

これまで工場内の照明に水銀灯を使用していましたが、これをLED照明に交換することで消費電力を大幅に削減できました。来年度は、工場内のすべての蛍光灯をLED化することを計画しています。



② 社用車運転記録簿導入

これまで7台ある社用車に関しては特に何の制限や注意を払っていませんでした。

今年度から社用車を使用するに当たり、運転前と運転後の走行メータおよび給油実績を記録することによりそれぞれの社用車の利用状況と燃費を全社員に報告する運用をとった結果、エコドライブの意識づけができるようになり、ガソリンの消費量も減少しました。

2014年度運転記録

記録開始日 5月1日

最終更新日 3月31日

年間走行距離と燃費

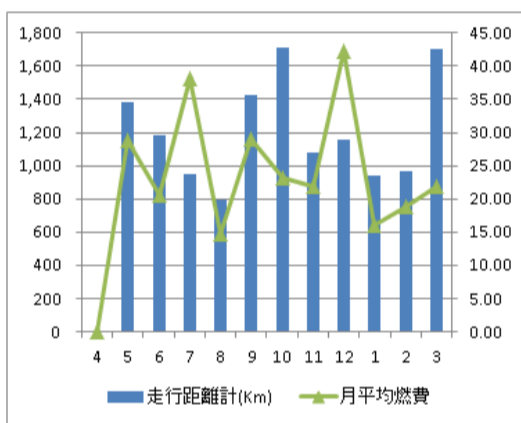
稼働日数 245

No	車種名	現在走行距離	年間走行距離	年間給油量	平均燃費	使用日数	月平均 使用日数
1	TOYOTAアクア	14,324Km	13,294Km	571.85L	23.25Km/L	180	20.00
2	TOYOTAパッソ	137,422Km	24,069Km	1278.22L	18.83Km/L	155	17.22
3	TOYOTAプロボックス1	199,278Km	11,047Km	632.02L	17.48Km/L	128	14.22
4	TOYOTAプロボックス2	208,151Km	11,277Km	790.09L	14.27Km/L	110	12.22
5	TOYOTAプロボックス3	156,040Km	12,573Km	803.41L	15.65Km/L	108	12.00
6	HONDAライフ	124,769Km	3,991Km	323.20L	12.35Km/L	109	12.11
7	DAIHATSUハイゼット	43,935Km	2,424Km	168.14L	14.42Km/L	50	5.56

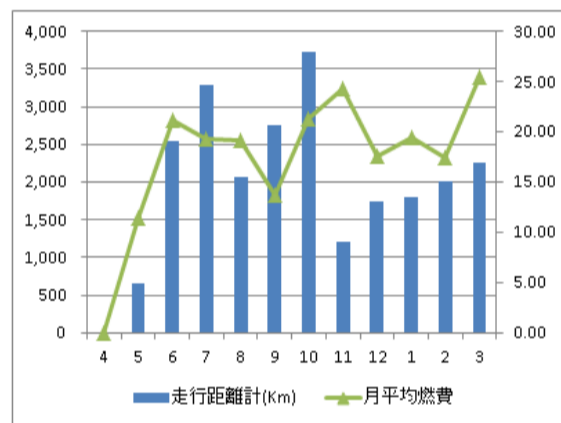
感想

- 1 TOYOTAアクア Mワレット車ですが思ったほど燃費が良くない状態です。月によってかなりのばらつきがあります。
- 2 TOYOTAパッソ 走行距離は他の社用車の倍以上あります。それに比例して給油量も相当です。
- 3 TOYOTAプロボックス1 プロボックス3台の中で一番利用されています。長距離が多いため燃費も3番目にいい数字となっています。
- 4 TOYOTAプロボックス2 総走行距離が一番長いための、プロボックス3台の中では一番燃費が悪いです。
- 5 TOYOTAプロボックス3 プロボックス3台の中では総走行距離が一番短いので、今後は9209から利用していただきたいです。
- 6 HONDAライフ 街中のみの利用のため、走行距離も伸びておらず燃費はまいちです。
- 7 DAIHATSUハイゼット 軽トラで長距離移動する機会が少ないため利用頻度は少ないですが、燃費は結構いい数字を出しています。

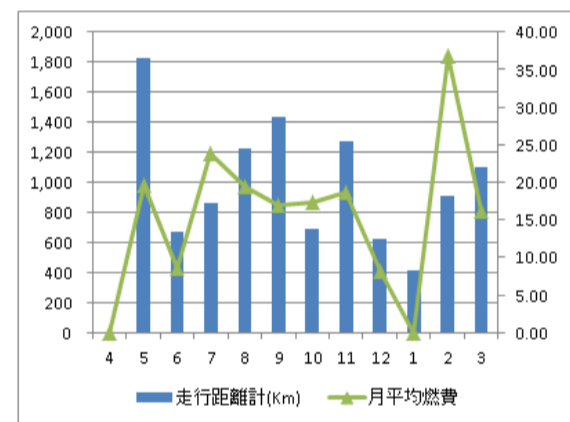
アクア実績 使用日数=180/245日 73%



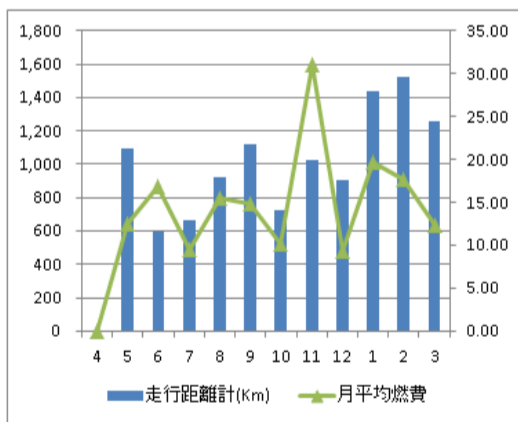
パッソ実績 使用日数=155/245日 63%



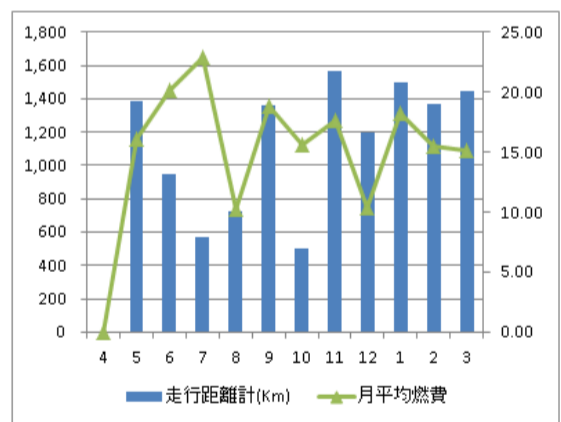
プロボックス1実績 使用日数=128/245日 52%



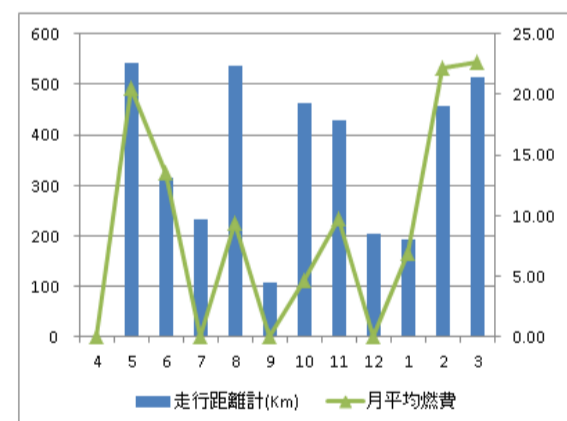
プロボックス2実績 使用日数=110/245日 45%



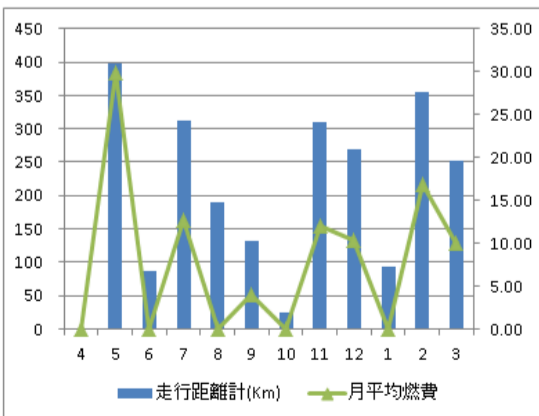
プロボックス3実績 使用日数=108/245日 44%



ライフ実績 使用日数=109/245日 44%



ハイゼット実績 使用日数=50/245日 20%



6.2 廃棄物（一般廃棄物と産業廃棄物）

廃棄物の総量は 6,985Kg です。

産業廃棄物が大半で、産廃の内訳は廃油、洗浄液、廃プラ、廃木材です。廃油や洗浄液はマシニングセンター切削油などに使用されたものです。廃木材は部材等の搬入時に使用される木製パレットです。

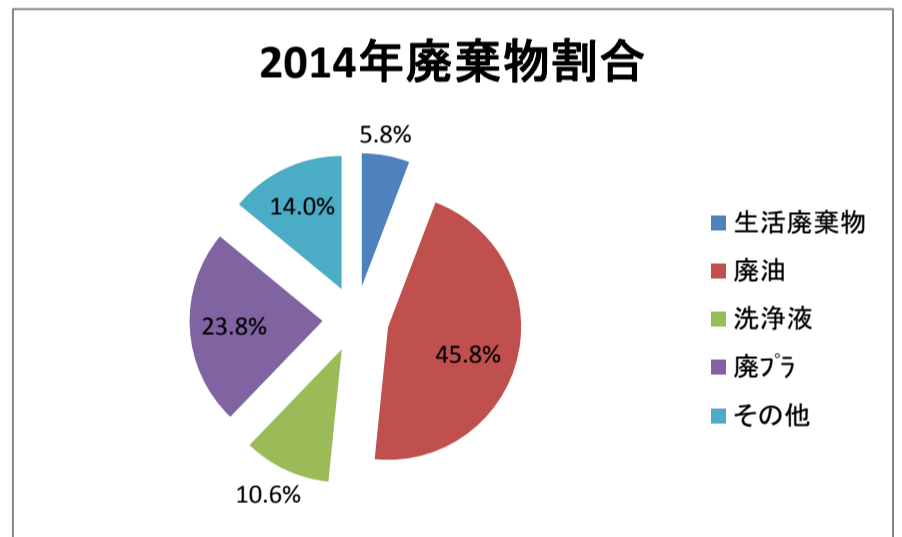
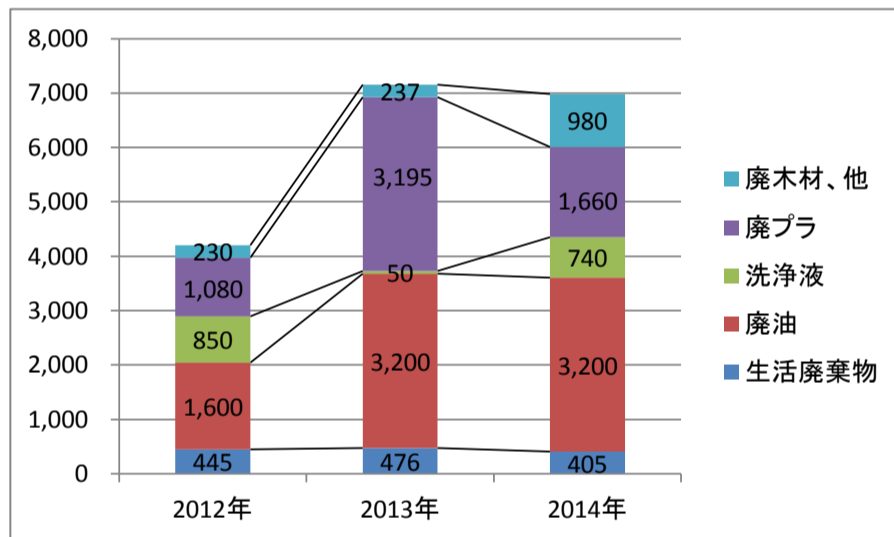
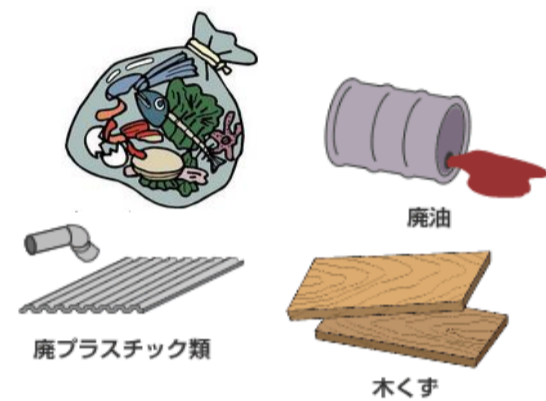
以上の産廃は燃料などに全てリサイクルされています。

生活廃棄物は、弁当容器や紙(リサイクル不可のもの)が大半です。これらはリサイクル不可で単純焼却されています。なお、2013年度の廃棄物総量は 7,158Kgのため、2014年度廃棄物対前年比は 97.6%(前年比2.4%削減)になりますが、一昨年(2012年度)に比較したら増加しています。

今後は、廃木材や廃プラ自体を削減することが課題となります。

2012年 - 2014年の実績推移

廃棄物実績		2012年	2013年	2014年
一般	生活廃棄物(Kg)	445	476	405
産廃	廃油(Kg)	1,600	3,200	3,200
マニフェスト 対象物	洗浄液(Kg)	850	50	740
	廃プラ(Kg)	1,080	3,195	1,660
	廃木材、他(Kg)	230	237	980
合計(Kg)		4,205	7,158	6,985



6.3 有価物およびリサイクルしている資源

当社は金属素材から、さまざまな金属製品を製作しているため加工時に多くの金属くずが発生します。

しかし金属くずは有価物として排出し、最終的には製鉄の材料用にリサイクルされています。

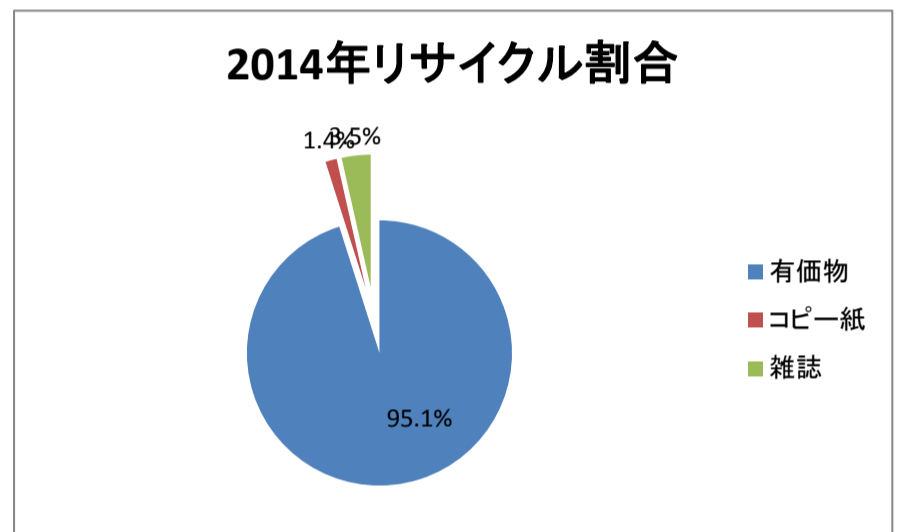
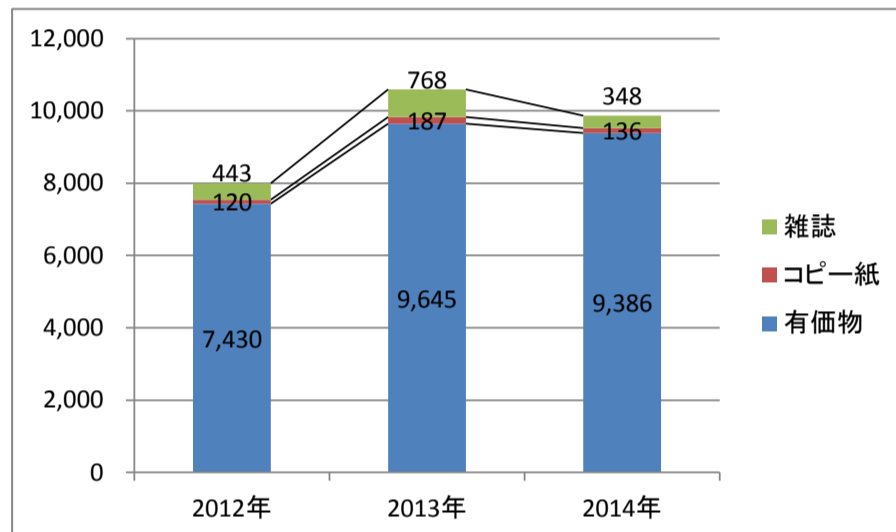
使用済みのコピー用紙、雑誌などは古紙業者に回収(無償)を依頼し、トレットペーパーなどの材料としてリサイクルされています。結果的に有価物および紙の 約9,870Kgは 100%リサイクルされています。

なお、2013年のリサイクル資源の量は 10,600Kgのため、対前年比は93.1%(前年比6.9%削減)です。

今後は紙での印刷自体を見直し、コピー紙削減を目指します。

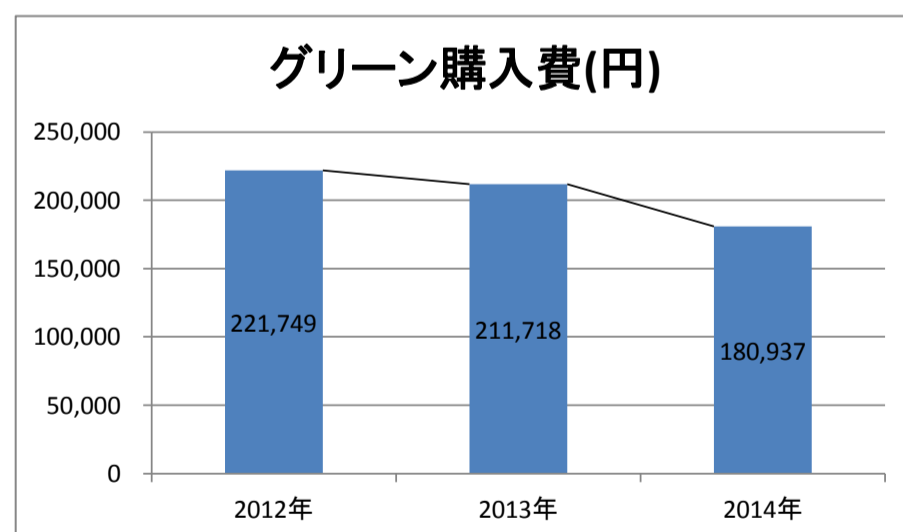
2012年 - 2014年の実績推移

リサイクル実績	2012年	2013年	2014年
有価物 (Kg)	7,430	9,645	9,386
コピー紙 (Kg)	120	187	136
雑誌 (Kg)	443	768	348
合計 (Kg)	7,993	10,600	9,870



2012年 - 2014年の実績推移

	2012年	2013年	2014年
グリーン購入費実績 (円)	221,749	211,718	180,937



これまでグリーン購入費の実績を登録しておりましたが、環境レポートには掲載しておりませんでした。

過去3年間の実績は上記のようになります。

7. 環境負荷の詳細

7.1 本年度環境活動計画と評価

	項目	目標達成手段	活動計画案	評価
1	環境システム見直し	EA21の指針に沿い、見直す	見直し	○
2	二酸化炭素排出量削減	電灯やOA機器の節電	毎日実施	○
			昼休み中の消灯、パソコン電源Off	○
			社内水銀灯をLED化	◎
		冷房27度、暖房20度の設定	毎月パトロールで遵守状況確認	◎
		冷暖房機器フィルターを年2回清掃	年2回実施	◎
	エコドライブの推進	社用車の走行距離と給油を記録	◎	
3	廃棄物の削減	ゴミの分別の周知徹底	可燃物、不燃物などの仕分け	◎
		資源ごみはリサイクルして活用	コピー紙、新聞紙などはリサイクル	◎
4	紙使用の削減	裏紙の活用	社内用は裏紙を活用	○
5	水使用の削減	節水の表示と周知徹底	節水表示で個人の意識向上	○
			実用に耐えられる程度に元栓を絞る	◎
6	環境法令の遵守	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	○
7	近隣の環境維持	環境清掃の実施	10月に実施	◎
8	環境コミュニケーション	環境レポートの配布	当社ホームページに環境レポートを掲載	◎
9	環境事故想定訓練	油などの流出想定訓練	10月に実施	◎
10	環境データの収集	毎月電力、水、紙などの消費量測定	毎月始めに収集	◎
11	設計工程の改善	設計資料・カタログの整理	随時担当者がファイリング	○
		技術者のスキル向上	3D-CADの技術の習得	○
		IBCAD図面の変換	新図面に対応するため旧図面変換	○
		5S維持の徹底	整理整頓、片づけの励行	○
12	組立工程の改善	クレーン点検の実施	クレーン点検を毎朝行う	○
		KYM(危険予知ミーティング)の実施	KYMを毎朝行う	○
		組立工数削減	組立時不具合情報収集	○
13	製造工程の改善	製造部内の不良削減	不良率のデータ収集	○
		クレーンの免許取得者(1名)	免許講習の実施	○
14	営業の改善	受注獲得の向上	受注率35%以上を目標	◎
		客先からのクレーム削減	クレーム件数のチェック実施	○

昨年度の更新審査時に指摘された項目を見直して、全ての実績をデータ化する作業を行いました。その結果、実績収集までで終わった項目もありましたが、少しずつでも改善に対する姿勢が育ちつつあります。

7.2 次年(2015年度)環境活動計画

	項目	目標達成手段	活動計画案
1	環境システム見直し	EA21の指針に沿い、見直す	見直し
2	二酸化炭素排出量削減	電灯やOA機器の節電	毎日実施 昼休み中の消灯、パソコン電源Off 社内蛍光灯をLED化
		冷房27度、暖房20度の設定	毎月パトロールで遵守状況確認
		冷暖房機器フィルターを年2回清掃	年2回実施
3	廃棄物の削減	ゴミの分別の周知徹底 資源ごみはリサイクルして活用	可燃物、不燃物などの仕分け コピー紙、新聞紙などはリサイクル
4	紙使用の削減	電子文書の活用	社内保存用資料は電子化を推進
5	水使用の削減	節水の表示と周知徹底	節水表示で個人の意識向上
			実用に耐えられる程度に元栓を絞る
6	環境法令の遵守	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	マニフェスト発行、法令順守の見直し
7	近隣の環境維持	環境清掃の実施	10月に実施予定
8	環境コミュニケーション	環境レポートのHP掲載	当社ホームページに環境レポートを掲載
9	環境事故想定訓練	油などの流出想定訓練	10月に実施
10	環境データの収集	毎月電力、水、紙などの消費量測定	毎月始めに収集
11	設計工程の改善	設計資料・カタログの整理	随時担当者がファイリング
		図面不良件数の削減	図面不良率10%以下目標
12	組立工程の改善	組立て工数の削減	組立て時の不具合記録
		組立て装置の品質向上	追加工、部品製作不備のフィードバック
		組立室の安全確保	装置組立て検査記録書作成
13	製造工程の改善	加工不良の削減	不良発生の根本原因追究と標準化 ヒューマンエラーの削減
		加工機械の稼働時間向上	加エプログラム作成の専従化
			切粉回収の自動化装置導入
			浮上油除去の自動化装置導入
		部品加工の設計改善提案提出	
14	営業の改善	社用車の燃費向上	毎月末に燃費測定
		失注率の通減	失注率35%以下目標

8. 環境活動記録

8.1 近隣清掃活動



8.2 廃油流出事故訓練



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果

関連法規の遵守状況を 10月にチェックしました。結果問題はありません。

なお過去3年間にわたって、関係機関や近隣住民の方からの法律違反の訴え、苦情や訴訟等は発生していません。産業廃棄物については、廃棄時にマニフェストを完全に発行しています。

環境関連法令等の遵守チェックリスト

最新情報の確認: <http://law.e-gov.go.jp/>

法令等の名称	該当条項	適用される要求事項	アラオの遵守状況		
大気	○ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	第6条	◇ 特定製品(業務用エアコン、冷蔵庫等)の整備 廃棄時のフロン回収・破壊 ◆ 引取り証明書による回収・破壊の工程の確認	特定フロンは使用せず 業務用エアコン、冷蔵庫等の整備・ 廃棄時のフロン回収・破壊は実施する	○ ○
		排水	○ 水質汚濁防止法 排水基準を定める省令	第2条 第14条	◇ 特定施設 ◇ 水質基準の遵守 ◇ 事故時の届出(貯油施設)
下水	○ 下水道法	第10条	◇ 下水道への放流	工業団地内で排水を管理中	○
		第12条	◇ 除外施設の設置		○
悪臭	○ 悪臭防止法	第7条	◇ 規制基準の遵守義務	該当施設なし	-
		第10条	◇ 事故時の措置と報告		
		第11条	◇ 自治体による測定		
騒音	○ 騒音規制法	第5条	◆ 特定工場、特定施設を設置している事業所は 規制基準を遵守	騒音は規定値内	○
		第6条	◆ 特定施設(施行令別表第1)の届出	コンプレッサー 11kw 3台 エアコン室外機 7.5kw 13台 (届出済み)	○
		第8条	◇ 特定施設の変更届(騒音が増加しない場合は この限りではない)		○
振動	○ 振動規制法	第5条	◆ 特定工場、特定施設を設置している事業所は 規制基準を遵守	コンプレッサー 11kw 3台 (届出済み)	○
		第6条	◆ 特定施設(施行令別表第1)の届出		○
廃棄物・リサイクル	○ 循環型社会形成推進基本法	第11条	◆ 事業者の責務(廃棄物になることの抑制)		○
	○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	第7条	◇ 一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要	許可証の写しを入手	○
		第14条	◇ 産業廃棄物処理業者は都道府県知事の許可が必要	許可証の写しを入手	○
		第15条 施行令8条	◆ 保管基準の遵守(表示、衛生管理等)	廃棄物置き場に表示設置	○
			表示:60cm角以上、種類、氏名・連絡先		○
		◆ 許可業者に委託(一廃は許可証の確認)	紙屑、その他	○	
		◆ 許可業者に委託(産廃は契約)	廃油、廃プラ	○	
		◇ 多量排出事業者の削減計画提出・報告		○	
	◆ マニフェスト発行・返送遅延時の届出	廃油、廃プラ	○		
	◆ マニフェスト交付状況の報告	熊本市へ報告	○		
◆ 専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託	紙、鉄くず	○			
○ 資源の有効な利用の促進に関する法律 リサイクル法	第4条	◆ パソコンのリサイクル化	パソコン	○	
○ 特定家庭用機器再商品化法 家電リサイクル法	第6条	◆ TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	TV、冷蔵庫、エアコンの適正廃棄を 実施する	○	
○ 使用済自動車の再資源化等に関する 法律	第5条	◆ 自動車の所有者の責務 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務		○	
化学物質・危険物	○ 特定化学物質の環境への排出量の 把握等および管理の改善の促進に 関する法律(PRTR法)	第2条	◆ 特定化学物質 (質量1トン以上、従業員21名以上)	PRTRの対象物質の使用は僅少	○
			○ 毒物及び劇物取締法	第2条	◇ 毒物または劇物の取扱
危険物	○ 高圧ガス保安法	第9条の2	◆ 圧縮アセチレンガス ◇ 高圧ガスの消費	使用量が僅少	○

10. 代表者による全体評価と来年への展望

10.1 取組への評価

2014年度の環境活動への取組についての評価は以下の通りです。

1) 全体評価

二酸化炭素排出量は前年実績に比較して60トンもの削減ができました。一昨年との比較でも50トン以上の削減実績となっています。水銀灯からLED照明に交換したこと、古いエアコンを省エネタイプに交換した結果だと考えられています。今年度は工場内のすべての蛍光灯をLED化し、さらなる二酸化炭素排出量の削減を目指していきます。その他の重要項目としてガソリン、灯油、紙消費実績については目標達成しています。環境会議、環境パトロール、環境測定は確実に毎月実施し、毎月の資源の消費量や各部の活動を監視しており、十分成果があったと判断します。

2) 営業部評価

営業部は客先を効率的に訪問することによるガソリンの使用の削減と、受注率の向上を目指しています。その成果で今年度のガソリン消費量は昨年度よりも抑えられ、受注率も目標を達成することができました。引き続き、「効率の良い営業とは」を念頭に活動していきます。

3) 設計開発部評価

設計開発部は3D-CADを導入し、全設計者が3D-CADでの図面作成ができる能力を取得しました。スキルの向上と技術レベルの資格取得を目指しましたが取得までは達していません。

4) 設備技術部評価

設備技術部は、クレーンなどの設備の日常点検とKYMを作業前に必ず行うようにしました。また、組立時の作業工数削減のために、不具合の種類と原因・対策の実績データをとるようにしました。この実績データをもとに不具合の根本原因をつきとめ、不要な手直し作業の削減に努めます。

5) 製造部評価

製造不具合の削減に対しては、不具合の原因の実態調査を行い、削減に効果があると思われる対策のための製造工程の標準化を目指していますが、まだ十分な成果はでていません。堅実にかつ継続して指導していく必要があると判断します。

6) 環境関連の法規について

法律の遵守に関しては、クレーンやコンプレッサーなど毎日の始業点検を行うことを義務付けております。出張等で確実に実行されていないなど、まだ十分なレベルに達していません。今後も安全委員会を強化して指導していきます。

7) 周辺環境

周辺住民や企業などからの環境に関連し、法律違反の訴え・苦情・訴訟等は発生していません。また関連官庁からの苦情や要望も発生していません。

10.2 2015年度への展望

本年は、昨年末の更新審査で指摘を受けた各部の改善活動を重点的に行い、それぞれの部署が独自に仕事の中で成果を上げていくように指導していきます。

2015年4月1日 代表取締役社長 荒尾 淳

EA21 2014年度（平成26年度）環境活動レポート

株式会社 アラオ



〒861-4144

熊本県熊本市南区富合町釈迦堂388

電話:096-358-7010

FAX:096-358-8045

発行日: 2015年(平成27年度) 4月 1日

発行者:環境委員会

ご意見、ご感想は弊社のホームページよりお送りください。

<http://www.araotech.jp/>